

次号の特集予告

282 巻 11 号(2022 年 9 月 10 日発行)

心筋炎——医療と医学の最前線

企画：今中恭子(三重大学大学院医学系研究科修復再生病理学)

- ・心筋炎は一般にウイルス感染をきっかけとした自己免疫が本態であり，重症心不全をきたし，しばしば致命的であるが，発症頻度は低く，少し特殊な心疾患と認識されてきた。
- ・昨今，COVID-19 急性心筋炎，それに関連した小児多系統炎症性症候群(MIS-C/PIMS)，さらに COVID-19 mRNA ワクチン関連心筋炎といった疾患カテゴリーが提唱され，心筋炎に対する関心は急速に高まった。
- ・本特集では，現在日本で行われている心筋炎の診断，治療に加え，病態メカニズム，特に病原体感染と免疫の関与に関する最新の知見を紹介し，今後の課題を明らかにする。